

組織率は県下一 元気です！葉山町商工会 小規模事業者の皆さんを支援

朝市、夕市、ビッグハマ・マーケットなど多彩な活動、
事業の発展や地域の発展のために総合的な活動を推進！

葉山町商工会（以下、町商工会）をご存じですか？ 商工会は、地域における商工業の発展や地域の活性化のため、法律（商工会法）に基づいて設立された公的団体です。

主に町村の小規模事業者を加入対象とし、現在、全国に約二、一〇〇の商工会があります。なお、都市部には主に商工会議所が設立されています。

町商工会は昭和四二年三月に創立されました。会員は、さまざまな業種の事業者等で、現在の会員数は六八五の事業所が加入、組織率は九三・七%、新規加入の事業者の増加に伴って、組織率も年々上昇し、「県内の商工会の中では、群を抜いてトップ」（柳新一郎会長）と高い組織率を誇っています。

このような強い組織力と結束力を背景に、青年部・女性部をはじめ各委員会等の活動も多彩で、活発です。

町商工会の事業は、まず経営改善普及事業として、金融や税務、経営、労務など各種個別相談会を始め経営・パソコン・簿記等の講習会、税務等の研修会を開催しています。新たに事業を始める人を支援するための「創業相談」なども行っています。また事業者のスキルアップ支援にも力を注いでいます。こうした日常活動のほかに、地域

総合振興事業として、イベントの開催など、地域を元気づけるための各種事業にも積極的に取り組んでいます。その主たるものが次のような事業です。

「ビッグハマ・マーケット」

毎年秋に森戸神社の境内で催されるマーケットです。会員の事業者約五〇店が出店し、洋菓子や寿司、各種惣菜、陶器など各店自慢の逸品を販売し、町内の人気商品が大集合します。今年は十月二八日（日）に開催し、一人近人出でにぎわいました。

町商工会、農業協同組合、漁業協同組合の女性部が集まり、葉山の海と山の幸を使った「チャリティー葉山鍋」。十三時には完売し、大好評でした。また、青年部が企画した「縁日コーナー」や「ポニーに乗って遊ぼう！」など家族連れにも人気でした。

このマーケットは十七年の歴史があり、葉山の名物行事として、すっかり定着しています。

会場の一画では町内工業者による「葉山工業フェスタ」も同時開催しました。葉山で活躍する建築業の職人さんたちが勢ぞろいして、プロの見事な技を披露しました。

◀ビッグハマ・マーケット



「葉山ふれあい夕市」

ビッグハマ・マーケットと並んで人気が高いのが、毎年九月の第一土曜日に南郷上ノ山公園で開催する「葉山ふれあい夕市」です。地元の長柄・葉桜商店会が主体に、町商工会が全面的に支援しています。

今年は九月一日（土）に開催し、葉山で人気の有名店を目当てに、町内外から大勢の人が詰めかけました。

「葉山マーケット日曜朝市」

町商工会と漁業協同組合、農業協同組合の三者が中心になり、毎週日

◀葉山ふれあい夕市



◀シヨッピングバッグ



曜日に銚摺港で開催しています。獲れたての新鮮な魚介類や農産物などが並び、多くの買い物客でにぎわいます。

今年十一月中旬からは、不要なごみを少しでも減らそうと、会場で専用のシヨッピングバッグの販売も始めました。このバッグには、五〇〇円分の買い物ポイントがもらえる特典を付け、利用の促進を図っています。

「HAYAMA BEEGRANDPRIX」

青年部が中心となって運営する海のイベントです。参加者全員でビーチクリーンをした後に、砂浜に立てた旗をいかに早く奪い取るかを競い合う「ビーチフラッグ」を行います。

◀ビーグランプリ



毎年町内の各海岸で行い、六回目は今年「海の日」の七月十六日（月祝）に実施し、多数の参加者がビーチフラッグ競技を楽しみました。

このほかにも皇室ゆかりの夏みかんを利用した「葉山ロイヤルワイン」の開発協力、秋の葉山ふるさとひろばへの参加、南郷中学校の職場体験学習での生徒たちの受入先の仲介など、地元に着した商工団体としてさまざまな活動を展開しています。

問合せ 葉山町商工会

☎八七五―二八一〇

◀葉山ロイヤルワイン



◀葉山ふるさとひろば

